

宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム 平成26年度行動実績

戦略Ⅰ 生業が支える『日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」』維持戦略

- ①宇治茶生産の維持対策
 - ・宇治茶関連基盤・施設整備支援(府事業)
- ②儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり
 - ・宇治茶アカデミーの開講(府事業)
- ③特色ある宇治茶づくり
 - ・宇治茶関連研究(府事業)

戦略Ⅱ 普遍的な価値のある「宇治茶ブランド価値発信」戦略

- ①宇治茶世界文化遺産登録プロモーション
 - ・宇治茶世界文化遺産ホームページの開設(PF事業)
 - ・宇治茶まる旅の開催(PF事業等)
 - ・宇治茶をいかした景観シンポジウムの開催(PF事業)
 - ・宇治茶文化講座(特別講座)の開催(府事業、PF事業)
- ②宇治茶の海外発信
 - ・宇治茶世界文化遺産ホームページ(英語版)の開設(PF事業)
- ③急須でお茶を淹れ味わうおもてなし文化の再発見
 - ・宇治茶おもてなし教室の実施(府事業、府大事業)
- ④宇治茶の価値を未来で伝達する知の拠点づくり
 - ・宇治茶文化講座の開催(府事業)
 - ・宇治茶アーカイブの構築(府事業)
 - ・宇治茶世界文化遺産ガイドコースの作成(府事業)

戦略Ⅲ 宇治茶生産の景観が結ぶ「感動と共感の場づくり」戦略

- ①宇治茶でおもてなしをテーマとした美しい景観の村づくり
 - ・宇治茶未来づくりワークショップの実施(PF事業)
 - ・宇治茶世界文化遺産モニターツアーの実施(PF事業等)
- ②宇治茶でおもてなし縁側カフェの開設
 - ・農家民宿開設への支援(府事業)

プラットフォーム会議等の開催

25年度に策定した「日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」の維持・活用戦略」の実行に当たり、執行体制や情報共有を図る目的で、階層的に会議を開催

(1) チーム会議

各事業ごとの世話人により、具体的な事業内容や事業実施に当たり、必要事項を打ち合わせ

- プロモーションチーム会議: 4月30日、5月14日、6月18日、8月7日、9月16日
- おもてなしチーム会議: 5月8日
- 府民カレッジチーム会議: 6月26日、9月19日、11月19日

(2) 世話人会議の開催

全世話人により、各事業担当の世話人の事業案をとりまとめて、PF全体の事業案を作成

- 第1回: 5月26日 山城広域振興局宇治総合庁舎
各世話人の平成26年度事業案を元に、PF全体の事業案をとりまとめ。
- 第2回: 2月9日 山城広域振興局宇治総合庁舎
平成27年度事業案の検討に向けて府事業の予算要求状況について説明するとともに事業案策定スケジュールを共有し、各世話人に事業検討を依頼。

(3) 全体会議

全メンバーにより、PF事業の世話人案を元に事業全体をとりまとめる。また、事業の進捗確認も行う。

- 第1回: 5月30日 宇治茶会館
平成26年度の世話人事業案を元に、平成26年度の事業計画となる行動計画を策定。
- 第2回: 10月15日 宇治茶会館
平成26年度事業の中間報告及び今後の予定を共有し、意見交換を実施。
- 第3回: 1月14日 宇治茶会館
平成27年度事業の報告及び平成27年度事業に向けて、府予算要求状況を報告し、意見交換を実施。

【 I ① 宇治茶生産の維持対策 】

宇治茶関連基盤・施設整備支援

改植、被覆棚施設設置、機械導入支援などを実施

①優良茶園振興事業

市町村名	地区名	事業実施主体	事業内容	受益面積
				(ha)
城陽市	全域	城陽市茶生産組合	改植	0.62
京田辺市	飯岡・草内	京田辺市茶業部会	改植	0.63
宇治田原町	全域	JA京都やましろ宇治田原町茶業部会	新植・改植	1.78
経				3.03

②茶園環境改善事業

市町村名	地区名	事業実施主体	事業内容	受益面積
				(ha)
宇治田原町	全域	JA京都やましろ宇治田原町茶業部会	被覆棚施設設置	0.85
和束町	全域	JA京都やましろ和束町支店茶業部会	被覆棚施設整備	0.42
城陽市、京田辺市、 木津川市、和束町、 南山城村	JA京都やましろ管内	JA京都やましろ	被覆棚施設整備	1.99
木津川市	加茂町	JA京都やましろ加茂支店茶業部会	防霜施設整備	1.73
経				5.00

③共同製茶等省力化推進事業

市町村名	地区名	事業実施主体	事業内容
宇治田原町	郷之口	農事組合法人日本緑茶宇治田原	乗用式茶園管理機 1台
和束町	全域	宗茶生産共同組合	乗用摘採機 1台
和束町		東和束茶生産組合	乗用式茶園管理機 1台
南山城村	今山・童仙房	七尾鳥茶園管理機利用組合	乗用摘採機 2台
南山城村	今山・童仙房	七尾鳥茶園管理機利用組合	自走式肥料散布機 2台

【I② 儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり】

宇治茶アカデミーの開講

茶業経営者を対象に、より高度な経営実践のために、宇治茶アカデミーを全7回(うち、茶業研究所開催2回)開催。延べ85名が受講し、12名が修了(※①概ね6割(4回)以上出席かつ②経営計画を発表した者に修了証書授与)

●第1回講座

- ・日時:平成26年9月22日(月) 参加者:93人
- ・講話:若手茶業後継者に望むこと
- ・講義:宇治茶の魅力～歴史と景観～

●第2回講座

- ・日時:平成26年9月25日(木) 受講生14人
- ・講義:財務管理・経営分析、リサーチ

●第3回講座

- ・日時:平成26年10月28日(火) 受講生9人
- ・講義:商品戦略とマーケティング戦略

●第4回講座

- ・日時:平成26年11月14日(金) 受講生10人
- ・講義:先進事例
- ・グループワーク

●第5回講座

- ・日時:平成26年12月16日(火) 受講生9人
- ・講義:ターゲット設定と攻略法の検討、経営モデル事例紹介
- ・グループワーク「想定ターゲット」の検討

●第6回講座

- ・日時:平成27年1月20日(火) 受講生12人
- ・講義:「茶(宇治茶)を売るには」
- ・グループワーク「各自の経営改善計画について」

●第7回講座

- ・日時:平成27年3月6日(金) 受講生13人
- ・講義:「予感日本緑茶の発展をどう作り出すか」
- ・中期経営計画発表



宇治茶関連研究

- ・茶業セミナーを開催し、新熱源によるてん茶機の開発を発表
- ・茶業研究所研究報告会を開催。4課題の成果を発表

●茶業セミナー

- ・日 時:平成27年2月3日、2月20日
- ・場 所:茶業研究所
- ・参加者:約100名

【新製茶法の特徴】

熱源を電気とし、加熱効率を向上
てん茶の製茶装置を機械化及び小型化

●茶業研究所研究報告会

- ・日 時:平成27年2月13日
- ・場 所:宇治茶会館
- ・参加者:310名
- ・発表内容
 - ①覆い下茶生葉に対応した鮮度保持装置の開発
 - ②茶の遮光栽培技術の今昔と新たな研究方向について
 - ③乗用摘採機を用いた資材展開・巻取装置による直がけ被覆の軽労化
 - ④京都府内の茶遺伝資源をDNAレベルで比較する



茶業セミナー



茶業研究所研究報告会

【Ⅱ① 宇治茶世界文化遺産登録プロモーション】

宇治茶世界文化遺産ホームページの開設

宇治茶の世界文化遺産登録の取組内容を発信するホームページを作成。取得予定ドメイン「.kyoto」が運用されしだい開設予定



宇治茶まる旅の開催

景観や特産品、体験プログラムなど地域の魅力を一体的にPRし、より多くの府民に現地に訪れていただくために、まちなかでの「マルシェ」と現地を訪れる「旅」を同時に企画した。マルシェと旅の企画は、参加者を広く公募しワークショップ形式で実施

●ワークショップの開催(宇治茶会館)

- ・第1回 平成27年2月4日(水) 参加人数:32名
- ・第2回 平成27年2月16日(月) 参加人数:33名
- ・第3回 平成27年3月3日(火) 参加人数:26名



ワーキング

●宇治茶のさとマルシェの開催

- ・日時:平成27年3月6日(金)～8日(日)
- ・場所:cocon烏丸

茶農家からは、一般客との接点が少ない中で、直接来客と接し点て方や淹れ方を説明して試飲していただいた上でお茶を売るという貴重な機会が持てたと好評価



煎茶と玉露の飲み比べ



マルシェ

●茶畑ツアーの実施

- ・日時:平成27年3月25日(水)
- ・場所:南山城村

1月に京都府景観資産登録、3月に府選定文化的景観となった南山城の茶畑で行ったことで、景観を生かした取組の気運醸成につながった。

また、準備が大変との声もある中で、次何ができるかという前向きな声も

聞かれ、今後南山城村でツアーを実施する際の受け入れ体制を整えていく上での一歩となった。



茶香服体験



苗木植え体験

【Ⅱ① 宇治茶世界文化遺産登録プロモーション】

宇治茶をいかした景観シンポジウムの開催

- ・宇治茶の世界文化遺産登録を目指す提案コンセプトとして定めた「宇治茶生産の景観」をいかした地域活動を今後進めていく上でのきっかけとするため、景観とまちづくりをテーマとしたシンポジウムを開催
- ・地元の方も多く参加され、改めて地域の良さに気づいたという声や一般市民が茶農家を応援する仕組みが必要など、世界文化遺産登録を目指す上での気運醸成につながった

●日時:平成26年12月7日(日)13:00～15:45 ●場所:宇治茶会館

●参加人数:約230人



西村教授の講演



会場の様子



トークセッション



山城こみねっつによる合唱

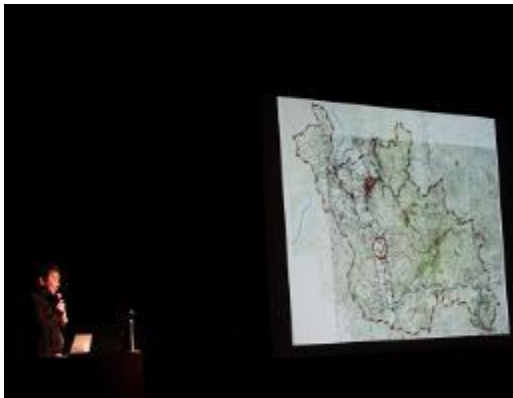
【Ⅱ② 宇治茶世界文化遺産登録プロモーション】

宇治茶文化講座(特別講座)の開催

- ・「宇治茶生産の景観」の価値について考えるため、特別講座を開催。京都府との共催で実施し、プラットフォームは舞台装飾や宇治茶の振る舞い、合唱を担当
- ・地元の方も多く参加され、世界遺産登録を目指すコンセプトである「宇治茶生産の景観」について理解が深まった。トークセッションでは、宇治田原町湯屋谷のワークショップの成果である仮想ツアーの発表もされ、景観をいかした地域活動に向けて気運が高まった。

●日時:平成27年1月24日(土)13:00~15:30

●場所:宇治田原町総合文化センター ●参加人数:約300人



清水准教授の講演



会場の様子



トークセッション



大学生による仮想ツアーの発表

【Ⅱ② 宇治茶の海外発信】

宇治茶世界文化遺産ホームページ(英語版)の開設

海外での抹茶人気を受け、外国人のお茶への関心が高まっているところであり、外国人への情報発信のため、そのポータルサイトとなる世界遺産ホームページの英訳版を作成

Ujicha aims at World Cultural Heritage registration!

日本語

Ujicha has unique techniques, flavor, and culture unlike any others in the world. It is the world treasure that nurture the mind of "omotenashi" (hospitality) through history in Japan. Let's make the scenery of Ujicha polished over 700 years the World Heritage.

Home | Map | Gallery | Link

World Heritage

Scenery of Ujicha Production

Effort toward the Registration

The Culture and History of Uji Tea

How to brew delicious tea

Let's make the scenery of Ujicha, the home of Japanese tea, the World Heritage

Kyoto Yamashiro Location

宇治茶love

いいね! 2,626

宇治茶loveさんが宇治市さんのアルバムをシェアしました。16分前

KBS京都放送です。見られる方どうぞ

Topics

New ▶ 3月10日 Ujicha aims at World Cultural Heritage registration!

▶ 過去のトピックスを見る

Home of Japanese Tea "Scenery of Ujicha Production"

Yamashiro area of southern Kyoto is the "home of Japanese tea" that created maccha, senja, and gyokuro representing Japanese tea by improving the production technology of the tea. They have been producing Ujicha for about 700 years.

"Scenery of Ujicha Production" is a scenery unlike any other that uniquely developed as green tea and created tea culture.

More Detail

宇治茶おもてなし教室の実施

- ・宇治茶の淹れ方教室と合わせて、宇治茶の魅力も話せるように、体験と座学をセットにした講座を開催した。京都府立大学との協働により、府立大の宇治をテーマとした公開講座と合わせて淹れ方教室を行った。
- ・淹れ方教室は、抹茶と玉露の淹れ方(点て方)教室を実施
講座は、宇治の茶畑などが描かれた古絵図などの解説等
宇治茶世界文化遺産登録の取組を紹介するパネル展示も実施

●日時:平成27年3月7日(土)11:00~16:00

(淹れ方教室:11:00~13:00、講座:13:00~16:00)

●場所:京都府立大学 稲森記念会館

●参加人数:淹れ方教室;70人、講座;約180名)



講座会場の様子



淹れ方教室



宇治茶の振る舞い



世界遺産取組紹介パネル

【Ⅱ④ 宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶文化講座の開催

- ・世界遺産登録に向けた取組の理解を促進し気運を盛り上げるために、登録を応援するファンの拡大や宇治茶の文化的価値を再認識できる講座を開催(4回)
 - ・講座内容は、座学と体験からなり、宇治茶の多様性にふれる機会とし、茶商や茶の生産者、歴史学者による講座と、宇治茶や宇治の文化を学びその魅力を発信する京都文教大学地域連携学生プロジェクト「宇治☆茶レンジャー」のサポートによる「美味しい宇治茶の淹れ方体験」を実施。
 - ・宇治茶文化講座に4回以上出席した方へ京都府から修了証(29名)を交付
- ※「宇治茶をいかした景観まちづくりシンポジウム」・特別講座「日本茶のふるさと宇治茶生産の景観」参加者も出席数に計上

●**第1回 平成26年11月12日(水) 13:00～14:30** 参加人数:47人

「茶商の技術と宇治茶の魅力について」

小山茂樹氏((株)山政小山園、宇治茶伝道師)

●**第2回 平成26年12月10日(水) 13:00～14:30** 参加人数:56人

「抹茶と玉露、その生産と魅力」

福井景一氏(宇治市茶農家)、出島藤司氏(京田辺市茶農家)

●**第3回 平成26年12月20日(土) 14:30～15:30** 参加人数:73人

「宇治茶の伝統と革新の歴史」

橋本素子氏(京都光華大学非常勤講師)

●**第4回 平成27年1月14日(水) 12:30～14:30** 参加人数:56人

「煎茶の生産と魅力」

木野正男氏(南山城村茶農家、宇治茶伝道師)、大西巧氏(和束町茶農家)

※場所:いずれも京都文教大学



第1回 講演



第2回 お茶淹れ体験

【Ⅱ④ 宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶アーカイブの構築

中近世移行期茶生産景観に関わる宇治茶の歴史的研究
—『宇治堀家文書』(1172年～1667年)の調査研究—

てん茶の栽培に関する歴史を調査

宇治郷における茶園の景観は、一面茶園という景観を呈しておらず、田畠を織り交ぜたモザイク的な景観を呈し、一筆ごとに土地所有者が異なる散在的なものであった。

また、宇治茶師の堀家は宇治郷以外の茶園を買得していることから、「宇治茶」とは、近世初頭までには「産地名表示」ではなく、「集散地名表示」となっていた。



【Ⅱ④ 宇治茶の価値を未来へ伝承する知の拠点づくり】

宇治茶世界文化遺産ガイドコースの作成

世界文化遺産登録を山城地域全体で盛り上げて行くために、宇治茶の文化的価値や魅力を発信する活動を行うガイド、茶農家、日本茶インストラクター、加工グループ等を通じて、山城地域に訪れる府民や観光客に宇治茶の文化的価値を伝える取組を実施(2回)

●日時

①木津会場(相楽会館)

平成26年10月21日(火)14:00～16:00 参加人数:47人

②宇治会場(宇治市産業会館)

平成26年10月28日(火)14:00～16:00 参加人数:30人

●内容

①「宇治茶の世界文化遺産登録の取組」

説明:京都府農林水産部農政課

②「宇治茶の伝統と革新の歴史」

講師:京都光華女子大学 橋本素子非常勤講師

③「景観を見せる／魅せる～文化的景観の伝え方～」

講師:京都府立大学 上杉和央准教授



宇治茶の歴史を熱心に学ぶ



グループワークをする参加者

宇治茶未来づくりワークショップの実施

宇治茶の文化的景観をコンセプトに定めた世界文化遺産登録に向けた取組の気運を高めるために、地域で景観を生かした活動を考える場として、当事者である茶農家を中心に地域住民にも呼びかけ、地域の未来を考えるワークショップを開催

●南山城村① 開催日:7月9日

- ・対象者:茶農家、直売所、地域活動団体等約30名が参加
- ・内 容:地域の宝や宝を生かした取組について
村内の茶畑を府景観資産登録に提案していくことも確認

●南山城村② 開催日:2月19日

- ・対象者:茶農家、移住者、村議会議員等約30名が参加
- ・内 容:1月23日に府景観資産の登録がされたことをきっかけに開催。
南山城村の魅力伝えるツアーづくりのアイデア出しなど

●宇治田原町湯屋谷 開催日:11月21日

- ・対象者:湯屋谷区の住民等約50名が参加
- ・内 容:残したい風景や未来の姿や湯屋谷の魅力を発信する方法など
永谷宗円の生家など府景観資産登録に提案していくことも確認

●城陽市 開催日:11月28日

- ・対象者:茶農家等約10名が参加
- ・内 容:世界遺産登録の取組や文化的景観、景観をいかした取組について
取組を通じて城陽の茶業を盛り上げていくことの理解が深まり、活動のきっかけとして、府景観資産登録に提案していくことが確認



南山城村



宇治田原町湯屋谷

京都府景観資産登録への取組状況

●登録

①宇治茶の主産地・南山城村

～大空へ向かって駆け上がる茶畑景観～

- ・所在地 南山城村高尾、今山、田山、童仙房
- ・提案者 南山城村茶業振興対策協議会
- ・登録年月日 平成27年1月22日



②高品質てん茶の産地・八幡市

～流れ橋周辺に広がる浜茶の景観～

- ・所在地 八幡市上津屋・野尻・岩田
- ・提案者 JA京都やましろ都々城茶生産組合
- ・登録年月日 平成27年1月22日



●登録予定

- ・平成27年3月11日京都府景観審議会にて審議(登録案件として答申)

●城陽市上津屋

- ・所在地 城陽市上津屋地内
- ・提案者 城陽市茶生産組合



●京田辺市飯岡

- ・所在地 京田辺市飯岡区
- ・提案者 京田辺市飯岡区



●宇治田原町湯屋谷

- ・所在地 宇治田原町湯屋谷
- ・提案者 宇治田原町湯屋谷区



京都府選定文化的景観への取組状況

●南山城村の宇治茶生産景観

一山なりの茶畑と山裾の農家

- ・所在地 南山城村
- ・面積 約50ha
- ・選定年月日 平成27年3月



宇治茶世界文化遺産モニターツアーの実施

地域においてワークショップを行うときに、地域外の視点、若者の視点を加え地域の魅力の再発見につなげるため、大学生を募り地域を巡ってもらった。

大学生は、地域を巡って気づいた地域の魅力などをワークショップに参加し報告するとともに、一緒に加わって意見交換を行った。

また、大学生の他、景観の専門家も現地調査を行い、主に京都府景観資産登録を目指す地域に対してアドバイス等を行った。

●モニター隊結成会 開催日：7月2日

モニターとなる大学生に対して、世界文化遺産登録に向けた取組や文化的景観の基礎知識を学んでいただいた後、地域で行うワークショップの模擬として、景観をいかした取組のアイデア出しを行った。

●南山城村ツアー 開催日：7月7日

茶畑や直売所、飲食店や木工工房などの地域活動が行われている旧田山小学校を巡った。

●南山城村ワークショップ 開催日：7月9日

学生からモニターツアーの結果を発表。「初めて見る茶畑の景観に感動した」など、地域の人が普段見慣れている風景の中に魅力があることが伝えられた。

●宇治田原町湯屋谷ワークショップ 開催日：11月21日

既に調査研究等で地域を歩いている学生がワークショップに参加

●宇治田原町湯屋谷区と京都文教大学の協働(11月30日、1月11日)

、地域の魅力を発信する仮想ツアーの動画を作成

●城陽市ワークショップ 開催日：11月28日

既に調査研究等で地域を歩いている学生がワークショップに参加

●専門家の現地調査 開催日：8月5日、8月15日、9月3日、3月5日

ワークショップに取り組む地域等を文化的景観や歴史、観光の専門家が現地調査を行い、専門的な見解を地域に伝えることで、取組の支援を行った。



南山城村モニターツアー



ワークショップでの学生の発表

【Ⅲ② 宇治茶でおもてなし縁側カフェの開設】

農家民宿開設への支援

みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業

農家民宿開設支援事業

- 場所:相楽郡和束町
- 整備内容
 - ・トイレ改修
 - ・火災警報器、防災カーテン

